

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.99/ 2022/5/16
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—————★

- [1] 【三役コラム】皆様からの VOICES への投稿が航空局への提言になりました
- [2] 【お知らせ】FTD 双発機のワンポイントレッスン再開
- [3] 【VOICES FEEDBACK】
 <①Cabin Notification 忘れ><②ステップ上で足が滑って>
- [4] 【お知らせ】セミナー・イベント
- [5] 【新発売】JAPA SHOP よりご案内
- [6] 【JAPA E-Journal 2022-001 CALLBACK 505/506 号和訳】
 運航技術委員会
- [7] 【お知らせ】協会事務局の勤務体制について
- [8] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

- [1] 【三役コラム】皆様からの VOICES への投稿が航空局への提言になりました
 副会長 中島 一郎

★—————

副会長の中島です。年に3回開催される VOICES(航空安全情報自発報告制度)の分析委員会に参加しています。VOICES は現場のヒヤリハット情報を幅広く集め、活用することにより、航空の安全性向上を目指す制度で、当局による不利益処分等への懸念を排除するため、分析委員会において報告者や事業会社が特定されないように慎重な処理を行っています。

VOICES では年3回「FEEDBACK」を公開しており、最新版は3月23日に179件が公開されました。[\(http://jihatsu.jp/\)](http://jihatsu.jp/) 要因別ではヒューマンファクターが一番多く、その内訳では依然として状況認識が多くなっています。

また今回はVOICES分析委員会から航空局に対して「提言」を提出しました。「提言」とは皆様からの投稿に関して、安全上問題となる類似の投稿が多く寄せられたり、緊急対応が必要な事例が報告された場合などに、航空局に対して具体的な対応を求めるものです。今回の提言は、以下の5つです。

- ①管制官からの投稿を増やすために、管制組織からの投稿を進めること
- ②羽田など複数滑走路を有する空港において、使用滑走路と進入方式が変更される時間などをATISなどにより事前に通知すること
- ③着陸直後の航空機への離脱誘導路などの管制指示を避けること
- ④AIPへのホットスポットの公示を羽田以外の空港にも広げること
- ⑤空間除菌剤の機内持ち込みを防ぐため認知度向上の対策を検討すること

航空局は「提言」に関する対応状況について分析委員会に逐次報告する必要があります。昨年出した提言により、間違えやすいウェイポイントの名称が変更されました。

個人が経験できる不安全事象の数は限られますが、FEEDBACKを見ることにより他人の貴重な経験を自分の経験にすることができます。またVOICESへの投稿により、航空局へ提言を出し必要な対応を促すことができます。

今後もヒヤリとし、ハットした経験を積極的にVOICESに報告するとともに、FEEDBACKを参考にしながら、空の安全を一層確かなものにしていきましょう。

★—————

[2]【お知らせ】FTD 双発機のワンポイントレッスン再開

★—————

FTD 利用の内、一部中断しておりました双発機仕様のワンポイントレッスンを再開しております。ご利用を希望される方は予約カレンダーからお申し込み下さい。

<https://member2.japa.or.jp/form/ftd/>

★—————

[3] 【VOICES FEEDBACK】

<①Cabin Notification 忘れ> <②ステップ上で足が滑って>

★—————

<①Cabin Notification 忘れ>

(その1)

ITM RWY32L からの離陸時に離陸開始の通知を失念しました。客室乗務員が機転を効かせて離陸 PA を行ってくれました。

状況は以下の通りです。

- ・副操縦士の右席操縦による 2 日目初便の訓練フライトで、私は PM Duty であった。
- ・TWY B 上で出発エリアの雲に対する SA を 2 人で共有、その後 TWR から“Hold Short RWY32L, No3”の指示。
- ・Hold Short している間少し時間があり、PM は前日の振り返り事項が改善されていたかが頭をよぎり教官 視点になっており、PM としての思考が一旦途切れていたかもしれない。・PM は一旦その思考が途切れたことで、Takeoff Clearance 受領時に LDG Light On としたことにより一連 の操作が完了したような感覚に陥っていた。
- ・PF は Line Up の指示がきて Thrust を足しても機体がなかなか動き出さなかったことで、早く Line Up し なければという焦りと、RWY32R からの離陸機に意識が向かってしまい PA や PM Duty が不十分になっていた。訓練に関わることはいい、PM 業務に関係のない余計なことを考えることも指導的要素を持ち込むのと同様であることを痛感しました。

(その2)

Takeoff に際して、Cabin Notification を忘れてしまいました。

PM の副操縦士から、Cabin Notify をしたか自信が無いと Runway 進入時に申し出があったにもかかわらず、PF の私が勘違いから実施済みとしてしまいました。せつかくの申し出に対して、もう一度やろうと言えなかったことを反省しております。誤解した背景には、Runway 進入時に PA の Volume を上げたところ、Cabin Crew が何かしらの PA を実施していたため、安易に離陸のための PA と勘違いしたことがありました。CRZ 中、前任客室乗務員に確認したところ、酸素マスクが落ちて来たときはマスクを外して着用するよう案内する PA だったそうです。幸い、離陸開始と同時に 13 Cabin が PA を

実施してくれました。また、久しぶりのフライトとはいえ、Other Crew の Task を Monitor できていなかったことも大いに反省しております。

<②ステップ上で足が滑って>

ヘリコプターの飛行前点検で機体の外周をチェックしていた際、乗客が乗っている側のスライディングドアの窓が開いたままになっていた。窓の開閉は機内から行う必要があるため、後席側から機内へ乗り込もうとした際、ステップ上で足が滑ってしまい、とっさに前席のシートとスライディングドアを掴んで体を支えた。その際、ドアに無理な荷重がかかってしまい、上方のガイドレールからドアが外れた。幸いにもケガは無かったが、最悪、ステップと機体の間に足が挟まれ骨折等のケガをする可能性があった。ステップで足を滑らせる事例は以前から知識として知っていたが、多くのことを考えながら行動するとき、もしくは環境が変化した際、不注意な状態になりやすくなる。窓は乗客に閉めてもらうか、一度降機してもらってから窓を閉めればよかった。

★—————

[4] 【お知らせ】 セミナー・イベント

★—————

《RNAV 講演会》

2022年6月26日

※会場参加かオンライン参加を選択の上、お申込み願います。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《航空安全講習会》

6月25日 熊本開催

7月23日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

6月4日 北海道開催

6月25日 愛媛開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《（前後半）第16回 TEM/CRM セミナー基礎コース》

6月29日～30日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいようお願い申し上げます。

★-----

[5] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★-----

JAPA-103（首都圏詳細航空図）第4版販売開始のお知らせ

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★-----

[6] 【JAPA E-Journal 2022-001 CALLBACK 505/506 号和訳】

運航技術委員会

★—————

【JAPA E-Journal 2022-001 CALLBACK 505/506 号和訳】を公開
しております、ぜひご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★—————

[7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★—————

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、
今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：5月16日（月）～（終了に関しては別途お知らせいたします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-16：00

★—————

[8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、
JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、
ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

* * * * *

★次回の配信は6月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
